

海況速報（クロロフィル a 分布）

平成 30 年 8 月 1 日

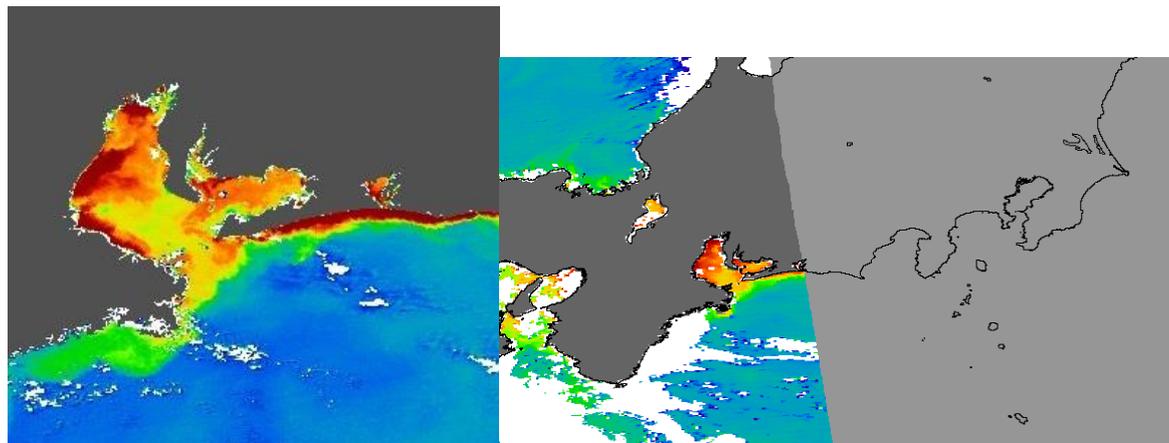
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

7月31日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、クロロフィル a 濃度は、伊勢湾湾奥、三河湾全域で高くなっています。特に、伊勢湾は西側（三重県側）が高くなっています。

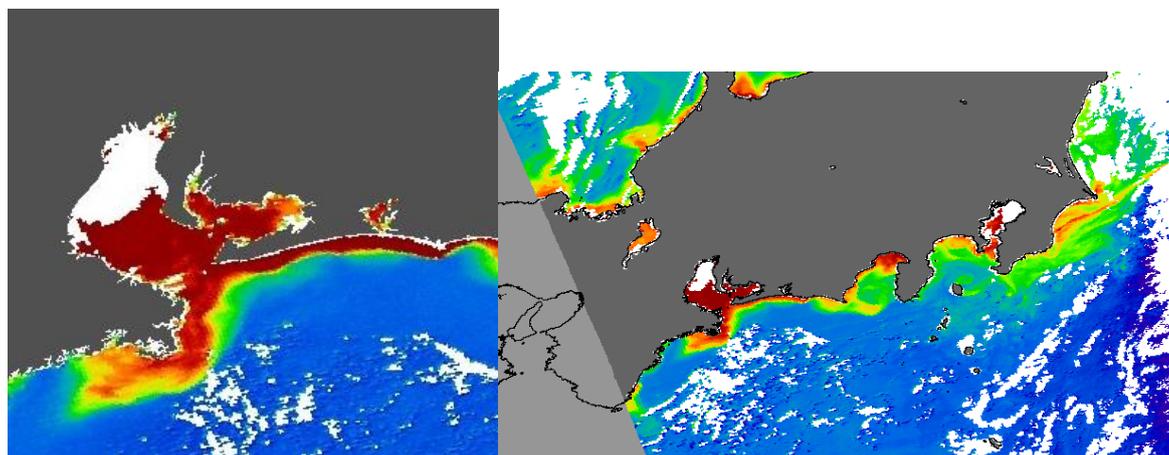
クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、伊勢湾および三河湾、湾口域、渥美半島沿岸域では7月初めの豪雨の影響で一時的に高くなりましたが、その後昨年並みに低下しました。しかし、台風12号により伊勢湾および三河湾、湾口域、渥美半島沿岸域はクロロフィル a 濃度が上昇しました。渥美外海では大きな変化は見られず、昨年と同様に推移しています。

（宇宙航空研究開発機構(JAXA)／東海大学(TSIC/TRIC)提供のMODIS画像)

7月31日のAQUAによるクロロフィル a 濃度分布



7月10日のAQUAによるクロロフィル a 濃度分布



※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

平成 30 年 8 月 1 日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。

(7 月 10 日までのデータ)

